#### 2025 年度 授業計画(シラバス)

	学	枓	診療放射線技師学科(夜	反間部)	科	目	区	分	専門分野	授業の方法		講義
	科目名	3	放射線治療技術学Ⅱ		必修	/選	択の	D別	必修	授業時数(単位数)	60	(4) 時間(単位)
×	対象 学	年	3年次		学期	及し	曜日	寺限	後期	教室名	第3校	舎901教室
ŧ.	旦当 教	員	小松裕司•中岡大輔	実務経験とその関連資格	臨床に	て放	射線	治療業	業務全般に従事していた	2		

### 《授業科目における学習内容》

線量計測に必要となる知識および計算法、各種疾患における病態と実際の放射線治療、粒子線(陽子線・炭素線)および密 封小線源治療、非密封核種内用療法の習得を図る。

### 《成績評価の方法と基準》

筆記試験(70%)

出席点(20%)

平常点(10%) 授業への参加・貢献度、授業態度を総合的に評価します。

### 《使用教材(教科書)及び参考図書》

使用教材: 榮 武二 『放射線治療基礎知識図解ノート』 金原出版株式会社 2021年

参考図書:日本医学物理学会『外部放射線治療における水吸収線量の標準計測法 標準計測法12』

通商産業研究社 2012年

# 《授業外における学習方法》

シラバスに記載されている授業内容を確認し、教科書や参考書を利用して事前学習を行う。また、授業後は必ず復習を行い、知識の定着を図るとともに、不明点や疑問点は次回の授業までに解決すること。

## 《履修に当たっての留意点》

予習、復習を行い、不明点や疑問点は次回の授業までに解決させること。

授美方	業の 法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	講義	授業を 通じての 到達目標	放射線治療計画の概要および体積の定義について理解する	教科書	教科書や配布資料を用 いて予習、復習を行い、 理解を深める。
1	戦 形式	各コマに おける 授業予定	放射線治療計画1	#□左次率  V	
第	講	授業を 通じての 到達目標	線量計算アルゴリズムおよびDVHについて理解する	<b>松</b> 和 事	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、 理解を深める。
2	義形式	各コマに おける 授業予定	放射線治療計画2	教科書 配布資料	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	CTシミュレータ・X線シミュレータについて理解する	教件者 和 左 次 率	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、 理解を深める。
3 回	我形式	各コマに おける 授業予定	CTシミュレータ・X線シミュレータ		
第	授業を通じての 講 到達目標		線量計測の基礎知識および使用する器具について理解する	*/ *\ -1.	教科書や配布資料を用
4	義形式	各コマに おける 授業予定	線量計測概要	教科書 配布資料	いて予習、復習を行い、 理解を深める。
第	講義形式	授業を 通じての 到達目標	標準計測法12について理解する	教件書 和左次料	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、 理解を深める。
5		各コマに おける 授業予定	標準計測法12		

	業の法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	講義	授業を 通じての 到達目標	各種線量計測法について理解する	教科書	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、 理解を深める。
6 □	我形式	各コマに おける 授業予定	線量計測 1	而右次判.	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	各種線量計測法について理解する	教科書	教科書や配布資料を用
7	莪形式	各コマに おける 授業予定	線量計測 2	配右姿彩.	いて予習、復習を行い、 理解を深める。
第	講義	授業を 通じての 到達目標	水吸収線量の算出方法および各補正係数について理解する	教科書 和	教科書や配布資料を用
8	義 形 式	各コマに おける 授業予定	モニタ線量計の校正1		いて予習、復習を行い、 理解を深める。
第	講義	授業を 通じての 到達目標	水吸収線量の算出方法および各補正係数について理解する	教科書	教科書や配布資料を用
9	我形式	各コマに おける 授業予定	モニタ線量計の校正2	配布資料	いて予習、復習を行い、 理解を深める。
第	講義形式	授業を 通じての 到達目標	モニタ設定値(MU値)の算出方法について理解する	教科書	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、 理解を深める。
10 回		各コマに おける 授業予定	水吸収線量、モニタ設定値(MU値)の算出	配布資料	
第	講義形式	授業を 通じての 到達目標	第4~10回で学習した内容を振り返り、理解を深める	*教科書 配布資料	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、 理解を深める。
11 回		各コマに おける 授業予定	線量計測総括		
第	講義	授業を 通じての 到達目標	脳の放射線治療の概要について理解する	一教科書 配布資料	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、 理解を深める。
12 回	戦形 式	各コマに おける 授業予定	部位別放射線治療の概要(脳)		
第	講	授業を 通じての 到達目標	頭頚部の放射線治療の概要について理解する	教科書 配布資料	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、 理解を深める。
13	義形式	各コマに おける 授業予定	部位別放射線治療の概要(頭頚部1)		
第	講	授業を 通じての 到達目標	頭頚部の放射線治療の概要について理解する	教科書 配布資料	教科書や配布資料を用
14	義形式	各コマに おける 授業予定	部位別放射線治療の概要(頭頚部2)		いて予習、復習を行い、 理解を深める。
第	講	授業を 通じての 到達目標	胸部・乳房の放射線治療の概要について理解する	一教科書 配布資料	教科書や配布資料を用
15 回	義形式	各コマに おける 授業予定	部位別放射線治療の概要(胸部・乳房)		教件書で配布資料を用いて予習、復習を行い、 理解を深める。

#### 2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	診療放射線技師学科(夜間部)	科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	放射線治療技術学Ⅱ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対象学年	3年次	学期及び曜時限	後期	教室名	第3校舎901教室
担当教員	小松裕司・中岡大輔 実務経験と その関連資料	臨床にて放射線治療	業務全般に従事していて	<u>.</u>	

#### 《授業科目における学習内容》

線量計測に必要となる知識および計算法、各種疾患における病態と実際の放射線治療、粒子線(陽子線・炭素線)および密 封小線源治療、非密封核種内用療法の習得を図る。

### 《成績評価の方法と基準》

筆記試験(70%)

出席点(20%)

平常点(10%) 授業への参加・貢献度、授業態度を総合的に評価します。

### 《使用教材(教科書)及び参考図書》

使用教材: 榮 武二 『放射線治療基礎知識図解ノート』 金原出版株式会社 2021年

参考図書:日本医学物理学会『外部放射線治療における水吸収線量の標準計測法 標準計測法12』

通商産業研究社 2012年

# 《授業外における学習方法》

シラバスに記載されている授業内容を確認し、教科書や参考書を利用して事前学習を行う。また、授業後は必ず復習を行い、知識の定着を図るとともに、不明点や疑問点は次回の授業までに解決すること。

## 《履修に当たっての留意点》

予習、復習を行い、不明点や疑問点は次回の授業までに解決させること。

授美方	<b>業の</b> 法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	講義	授業を 通じての 到達目標	消化器の放射線治療の概要について理解する	教科書	教科書や配布資料を用 いて予習、復習を行い、 理解を深める。
16回	我形式	各コマに おける 授業予定	部位別放射線治療の概要(消化器)	和 右 答	
第	講	授業を 通じての 到達目標	泌尿器の放射線治療の概要について理解する	사진 <del>하</del>	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、 理解を深める。
17	義形式	各コマに おける 授業予定	部位別放射線治療の概要(泌尿器)	教科書 配布資料	
第	講義形式	授業を 通じての 到達目標	婦人科の放射線治療の概要について理解する	教科書 配布姿料	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、 理解を深める。
18		各コマに おける 授業予定	部位別放射線治療の概要(婦人科)		
第	講	授業を 通じての 到達目標	血液・リンパ・皮膚・骨の放射線治療の概要について理解する	*/.**\	教科書や配布資料を用
19	義形式	各コマに おける 授業予定	部位別放射線治療の概要(血液・リンパ・皮膚・骨)	教科書 配布資料	いて予習、復習を行い、 理解を深める。
第	講義形式	授業を 通じての 到達目標	小児の放射線治療の概要について理解する	**************************************	教科書や配布資料を用
20回		各コマに おける 授業予定	部位別放射線治療の概要(小児)	教科書 配布資料	いて予習、復習を行い、 理解を深める。

	業の法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	講義	授業を 通じての 到達目標	良性疾患の放射線治療の概要について理解する	教科書	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、 理解を深める。
21 回	我形式	各コマに おける 授業予定	部位別放射線治療の概要(良性疾患)	配布資料	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	緩和照射・緊急照射の概要や適応について理解する	教科書	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、 理解を深める。
22 回	我 形 式	各コマに おける 授業予定	緩和照射•緊急照射	配 右 答 彩 .	
第	講義	授業を 通じての 到達目標	第12~22回で学習した内容を振り返り、理解を深める	<b>数</b> 利 書	教科書や配布資料を用
23 回	我形式	各コマに おける 授業予定	各部位の放射線治療 総括	教科書 配布資料	教科書や配利員科を用いて予習、復習を行い、 理解を深める。
第	講義	授業を 通じての 到達目標	粒子線治療(陽子線・炭素線)について理解する	教科書	教科書や配布資料を用
24	我形式	各コマに おける 授業予定	粒子線治療1	配布資料	いて予習、復習を行い、 理解を深める。
第	講義形式	授業を 通じての 到達目標	粒子線治療(陽子線・炭素線)について理解する	<del>数</del> 利事	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、 理解を深める。
25 回		各コマに おける 授業予定	粒子線治療2	教科書 配布資料	
第	講義形式	授業を 通じての 到達目標	中性子捕捉療法について理解する	教科書 配布資料	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、 理解を深める。
26回		各コマに おける 授業予定	中性子捕捉療法		
第	講	授業を 通じての 到達目標	密封小線源治療法について理解する	教科書 配布資料	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、 理解を深める。
27 回	義形式	各コマに おける 授業予定	密封小線源治療法		
第	講	授業を 通じての 到達目標	非密封核種内用療法について理解する	*************************************	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、 理解を深める。
28	義形式	各コマに おける 授業予定	非密封核種内用療法	教科書配布資料	
第	講	授業を 通じての 到達目標	第24~28回で学習した内容を振り返り、理解を深める	教科書 配布資料	教科書や配布資料を用
29	義形式	各コマに おける 授業予定	粒子線治療、核医学治療 総括		いて予習、復習を行い、 理解を深める。
第	講	授業を 通じての 到達目標	放射線治療技術学Ⅱで学習した内容を振り返り、理解を深める	一教科書 配布資料	教科書や配布資料を用
30	義形式	各コマに おける 授業予定	放射線治療技術学Ⅱ 総括		教科書や配和資料を用いて予習、復習を行い、理解を深める。